

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 6 月 27 日

【発行】横浜市国際局政策総務課

企画担当 045-671-4710

ki-somu@city.yokohama.jp



【タギック市長による視察の様子】

第 19 回 Y-PORT ワークショップを開催しました

5 月 30 日に「国際技術協力の新たな展開に向けた取組のご紹介」というテーマで第 19 回 Y-PORT ワークショップを開催しました。

今回のワークショップでは、アジア開発銀行（ADB）のインフラ投資促進に向けての取組みや都市間協力を活用した新たな支援プログラムについて、ADB 駐日代表等からご紹介いただきました。また、市内企業の有志により結成準備が進んでいる、一般社団法人 Yokohama Urban Solution Alliance (YUSA) から、設立趣旨等のご案内がありました。

市内企業等から 69 名が参加し、講演者・参加者間での意見交換及びネットワーキングが活発に行われました。



※『Y-PORT ワークショップ』については [こちら](#)（国際局 HP）

フィリピン・タギグ市長が横浜の水・資源再生施設を視察しました

フィリピン・マニラ首都圏タギグ市のラニ・カエターノタギグ市長が、6 月 7 日に横浜市を訪問しました。

本市の水再生技術に関心をお持ちのラニ・カエターノ市長は、鶴見区にある北部第二水再生センターと北部汚泥資源化センターを視察しました。

視察では、施設管理や下水道処理の方法等について説明を受け、処理の過程で発生した熱や水を再利用するなど、エネルギーの有効利用を図っている様子に、強い関心が示されました。



渡辺副市長との面会では、今後の両市の交流、協力について意見交換をしました。

スロベニア共和国大使が横浜市を訪問しました

シモナ・レスコヴァル駐日スロベニア共和国大使が 6 月 16 日に横浜市を訪問し、林市長と面会しました。



5 月のパラトリアスロンシリーズ横浜大会で、スロベニアのコビリツァ選手が 4 位入賞するなど、スポーツを通じた横浜とスロベニアの交流や、OECD の国々の中で男性と女性の給与差が最も少ないというスロベニアの女性活躍の取組などについて意見交換が行われました。

